



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月27日

上場会社名 アツギ株式会社
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日光 信二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 古川 雅啓
四半期報告書提出予定日 2022年11月7日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 046-235-8107

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,817	5.8	1,060		682		694	
2022年3月期第2四半期	10,423	66.4	1,016		771		809	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 629百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 771百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	43.35	
2022年3月期第2四半期	50.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	41,924	32,774	78.2
2022年3月期	42,234	32,145	76.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 32,774百万円 2022年3月期 32,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	11.0	100		300		200		12.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	17,319,568 株	2022年3月期	17,319,568 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,295,377 株	2022年3月期	1,294,494 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	16,024,599 株	2022年3月期2Q	16,027,468 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢などによって資源・エネルギー価格上昇に拍車がかかったことや、外国為替相場での急激な円安進行、中国におけるゼロコロナ政策による都市封鎖等の影響から、先行きは不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、物価上昇及び実質賃金の低下から消費者の生活防衛意識が高まったことによる消費マインドの低下等により依然として厳しい環境が続いております。

このような状況において当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』をスタートさせました。『ATSUGI VISION 2024』では、この期間を「足場固めの3年間」と位置付け、顧客ニーズの変化と多様性に的確に対応したうえで、「事業ポートフォリオの強化」、「生産体制の再編による収益基盤の強化」、「資本の効率化」の3つの重点課題に取り組むことにより収益性を高めることに注力し、将来の持続的成長のための安定した財務基盤の確立を目指してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,817百万円（前年同四半期比5.8%減）、営業損失は1,060百万円（前年同四半期は1,016百万円の損失）、経常損失は682百万円（前年同四半期は771百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は694百万円（前年同四半期は809百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

[繊維事業]

レッグウェア分野は、徐々に人流が回復し行動制限の緩和の動きによる個人消費の持ち直しによる動きがみられ販売数量は回復傾向となりましたが、消費者の生活防衛意識の高まりなどから高価格帯商品が苦戦し、同分野の売上高は4,991百万円（前年同四半期比6.5%減）となりました。

インナーウェア分野は、ブラジャーなどは底堅く推移しましたが、布マスクの需要が落ち着いたことなどにより、同分野の売上高は4,196百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は9,187百万円（前年同四半期比6.0%減）、営業損失は1,249百万円（前年同四半期は1,171百万円の損失）となりました。

[不動産事業]

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は268百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益は195百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は天候の影響などにより発電量が減少いたしました。介護用品の販売は苦戦しましたが、認知症高齢者向け介護施設であるグループホームは堅調に推移しました。これらの結果、当事業の売上高は361百万円（前年同四半期比2.8%減）、営業利益は35百万円（前年同四半期比17.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は41,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少2,361百万円、流動資産のその他に含まれるデリバティブ債権の増加849百万円、有形固定資産の増加645百万円、投資有価証券の増加493百万円等によるものであります。

負債の部は9,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ938百万円減少しました。これは主に、未払金の減少626百万円、仕入債務の減少360百万円、繰延税金負債の増加380百万円等によるものであります。

純資産の部は32,774百万円となり、前連結会計年度末に比べ628百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失694百万円の計上およびその他の包括利益累計額の増加1,323百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は78.2%（前連結会計年度末は76.1%）となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失637百万円、仕入債務の減少279百万円、棚卸資産の増加232百万円等により、1,151百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,067百万円や無形固定資産の取得による支出330百万円等がありましたが、定期預金の払戻による収入835百万円等により、538百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により、235百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,593百万円減少し、3,907百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,309	3,948
受取手形及び売掛金	4,204	3,760
商品及び製品	4,854	4,952
仕掛品	1,149	1,168
原材料及び貯蔵品	510	709
その他	1,520	2,415
貸倒引当金	△24	△27
流動資産合計	18,524	16,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,364	1,837
機械装置及び運搬具（純額）	1,681	1,917
土地	12,182	12,182
建設仮勘定	514	423
その他（純額）	75	103
有形固定資産合計	15,818	16,464
無形固定資産	471	652
投資その他の資産		
投資有価証券	7,201	7,695
繰延税金資産	9	—
その他	209	185
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	7,419	7,881
固定資産合計	23,709	24,997
資産合計	42,234	41,924

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,065	1,705
1年内返済予定の長期借入金	470	470
未払法人税等	93	100
賞与引当金	77	61
その他	2,215	1,573
流動負債合計	4,922	3,911
固定負債		
長期借入金	1,380	1,144
繰延税金負債	1,154	1,534
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,286
退職給付に係る負債	1,090	1,018
その他	254	254
固定負債合計	5,166	5,239
負債合計	10,088	9,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	12,042	10,272
利益剰余金	△2,630	△1,555
自己株式	△1,466	△1,466
株主資本合計	27,945	27,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,850	2,190
繰延ヘッジ損益	459	1,049
土地再評価差額金	388	388
為替換算調整勘定	1,500	1,894
その他の包括利益累計額合計	4,200	5,524
純資産合計	32,145	32,774
負債純資産合計	42,234	41,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	10,423	9,817
売上原価	7,945	7,184
売上総利益	2,477	2,632
販売費及び一般管理費	3,493	3,693
営業損失(△)	△1,016	△1,060
営業外収益		
受取利息及び配当金	109	124
持分法による投資利益	2	—
為替差益	49	193
補助金収入	51	—
その他	47	73
営業外収益合計	259	391
営業外費用		
支払利息	6	4
租税公課	1	1
その他	7	6
営業外費用合計	15	12
経常損失(△)	△771	△682
特別利益		
固定資産売却益	28	68
特別利益合計	28	68
特別損失		
固定資産除却損	0	16
固定資産売却損	—	7
減損損失	29	—
特別損失合計	29	24
税金等調整前四半期純損失(△)	△773	△637
法人税、住民税及び事業税	24	63
法人税等調整額	9	△6
法人税等合計	34	56
四半期純損失(△)	△807	△694
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△809	△694

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△807	△694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△146	340
繰延ヘッジ損益	33	589
為替換算調整勘定	150	393
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	—
その他の包括利益合計	36	1,323
四半期包括利益	△771	629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△777	629
非支配株主に係る四半期包括利益	6	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△773	△637
減価償却費	206	230
減損損失	29	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△43	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△51	△72
受取利息及び受取配当金	△109	△124
支払利息	6	4
持分法による投資損益(△は益)	△2	—
補助金収入	△51	—
有形固定資産除却損	0	16
有形固定資産売却損益(△は益)	△28	△61
売上債権の増減額(△は増加)	83	495
棚卸資産の増減額(△は増加)	△32	△232
仕入債務の増減額(△は減少)	212	△279
未払消費税等の増減額(△は減少)	108	△47
その他	△471	△527
小計	△914	△1,249
利息及び配当金の受取額	109	124
補助金の受取額	51	—
利息の支払額	△6	△4
特別退職金の支払額	△76	—
法人税等の支払額	△36	△22
営業活動によるキャッシュ・フロー	△872	△1,151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△328	△20
定期預金の払戻による収入	328	835
有形固定資産の取得による支出	△855	△1,067
有形固定資産の売却による収入	29	61
無形固定資産の取得による支出	△87	△330
投資有価証券の取得による支出	△17	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△931	△538
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△0	△0
自己株式の増減額(△は増加)	△1	△0
長期借入金の返済による支出	△235	△235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△236	△235
現金及び現金同等物に係る換算差額	147	333
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,893	△1,593
現金及び現金同等物の期首残高	7,403	5,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,510	3,907

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の第96回定時株主総会決議により、その他資本剰余金を1,770百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レグウェア	5,336	—	5,336	—	5,336	—	5,336
インナーウェア	4,433	—	4,433	—	4,433	—	4,433
その他	—	24	24	371	396	—	396
顧客との契約から生じる収益	9,769	24	9,794	371	10,166	—	10,166
その他の収益	—	256	256	—	256	—	256
外部顧客への売上高	9,769	281	10,051	371	10,423	—	10,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	1	1	△1	—
計	9,769	281	10,051	372	10,424	△1	10,423
セグメント利益又は損失(△)	△1,171	198	△973	30	△942	△73	△1,016

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レッグウェア	4,991	—	4,991	—	4,991	—	4,991
インナーウェア	4,196	—	4,196	—	4,196	—	4,196
その他	—	0	0	361	361	—	361
顧客との契約から生じる収益	9,187	0	9,187	361	9,549	—	9,549
その他の収益	—	268	268	—	268	—	268
外部顧客への売上高	9,187	268	9,456	361	9,817	—	9,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,187	268	9,456	361	9,817	—	9,817
セグメント利益又は損失(△)	△1,249	195	△1,053	35	△1,017	△43	△1,060

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。